

保育計画成果報告書

法人名	学校法人 宇ノ気学園
施設名	にじの丘こども園
報告者	中川 友紀（園長）
住所・連絡先	石川県かほく市秋浜イ 42-1 TEL 076-283-2416 E-mail nijinooka@unokegakuen.ac.jp

○タイトル（保育計画）

音から広がる ～友達と力を合わせ、音を奏でる楽しさを味わおう～

○主な助成備品

マーチング楽器

大太鼓・中太鼓・小太鼓・トリオ・シンバル・マーチングキーボード（MK）

1. 保育計画策定の目的

心が柔軟な幼児期にこそ、様々なことを体験してほしいと思い、その活動の一つとして音楽活動も積極的に取り入れたいと考えていた。色々な楽器があり、楽器ごとに音が違うことに興味を持ってほしい。一人で好きなだけ音を鳴らして楽しむ、友達と一緒に一つの楽器を鳴らす、友達と曲を奏でる満足感を味わうと年齢によって楽しみ方は異なるが、音を聞いたり、みんなで音を合わせることで音楽に関心を持ち、音楽活動からも心を豊かに育てていきたいと思う。

低年齢児においては、楽器を奏でることは難しいが、大きい子が一生懸命演奏している姿を見たり、大きな音を聞いて驚いたり、また体を揺らしたりと、色々な感情に触れ、感性豊かに育ててほしいと考えた。

2. 具体的な実践内容

【5歳児】

どのような楽器があるのか紹介した後、自由に楽器をならしてみたり、実際に担いで重さを体感した。太鼓やMKなどの楽器を楽しそうにならして、友達とはしゃぐ姿もよく見られた。そこから好きな楽器を選んで、9月の運動会に向けての合奏の練習が



始まった。6種類の楽器を使用し練習をしていたが、はじめはなかなか音が揃わなかった。それでも楽器を鳴らすことは楽しく、音が揃いだしたころには一人ひとりが自信を持って堂々と演奏する頼もしい姿が見られた。運動会本番ではみんながよく知っている「手のひらを太陽に」の曲を隊形移動をしながら演奏し、緊張しながらも立派に披露することができた。



また11月には地域の文化祭にも出演してたくさんのお客さんの前で鼓隊披露をした。

【4歳児】

5歳児の演奏する姿を見て、楽器に興味を持ち、自分達も鳴らしてみたいという気持ちを持つようになった。遊びの時間に楽器を置いておくと触りたそうだったので基本的小約束や、大事に使うことを話して、あとは子ども達が自由に触れるようにした。

太鼓もいろいろあるので、たたいては音を比べて見たり、友達と一緒にたたいたり、またMKを弾いてみたりと音を楽しむ姿が見られた。自由に触れることで「来年度は自分達が運動会で年長さんみたいに演奏するんだ！」という期待も膨らんだようだ。



【0～3歳児】

楽器を見て、音の大きさに驚きながら、先生や年上児が演奏する姿を真剣に見ていた。3歳児は自分たちもならしてみたいという気持ちが見られ、遊戯室の隅に並べてあった際には触ったり、たたいたり音を楽しむ姿も見られた。

また5歳児も初めての楽器演奏なので、まず興味をもってもらおうと思い、一番初め

のとっかかりは職員が練習し、園児の前で楽器紹介とディズニー曲アンダー・ザ・シーを、鼓隊披露した。みんなが知っている曲だったので、全園児楽しそうに聞いていた。



3. その結果と評価

楽器が導入されたことで音楽活動の幅が広がった。少し難しいかなと感じたマーチング活動だが、子どもたちは新しいものに興味を持ち、練習も一生懸命行っていた。いろいろなところで披露し褒めてもらえることで達成感を味わい、自信につながった。

園の活動においても活性化し、子どもたちも、「年長さんになったら鼓隊ができる」と期待を持つようになった。

情操教育の一環として音楽に親しみ、園目標である「豊かな心」に近づく活動になったと思う。

4. 今後の課題と展望

マーチング楽器が揃ったことで、活動の幅が広がり、子どもたちにとっても新たな試みと喜びに繋がった。しかし、マーチング楽器は重さもあり、4・5歳児向きとなるため、低年齢児でも楽しめる打楽器を使用したりして、大きい子も小さい子も一緒に楽しく音楽活動を楽しめるようになるのが理想ではないかと思う。

今回は大きな行事に向けて鼓隊の発表をすることを一つの目的として行ったが、普段の遊びの中でも楽器に興味を示したり、様々な音に触る楽しさを味わえるように環境設定をしていきたいと思う。

以上